

2018年4月20日

九州電力株式会社
社長 瓜生 道明 殿

川内原発1号機の燃料棒破損に関する抗議および質問と要請

とめよう原発！かごしまの会
代 表 平良 行雄
(事務局・連絡先) 井上 勇治
TEL : 090-5084-0281

去る4月5日付の新聞その他のマスコミによって、昨年3月から続けていた川内原発1号機の一時冷却材のヨウ素濃度上昇の原因について、「一部燃料棒の破損が原因であることが明らかとなった」と報じられました。私たちは昨年10月、県内の反原発団体とともに、ヨウ素濃度上昇の問題について『憂慮すべき事態である』として、原因究明と対策を即座に講じるよう貴職に申し入れました。これに対し貴職は、「現時点において原因は特定されていない。上昇量は基準より非常に小さく問題はない」とし、「今後の推移を見守っていく」と、非常に無責任な対応でした。さらには、「原因をキチンと特定することが重要であり、そのために運転を一時停止し総点検すべきではないか！」との私たちの申し入れを無視し、今年1月の定期点検まで運転を続けました。今回の燃料棒の破損は、一つ間違えば大事故につながる可能性を秘めており看過するわけにはいきません。私たちは、今回の問題に対する貴職の無責任な対応と、安全・安心に対する認識の甘さに断固抗議するものです。

つきましては、下記の内容について質問および要請をさせていただきますので、4月末日までに文書にてご回答いただけますようお願い致します。なお、貴職の社是に基づく責任ある対応を切に願っておりますことを申し添えます。

記

<質問>

1. 燃料棒破損の原因について、改めて詳細に説明すること。
2. 通常の定期点検の項目に、燃料棒の点検は含まれていないのか。
3. 一昨年の熊本地震によって破損した可能性は無いか。
4. 熊本地震後に行った特別点検の際には、燃料棒の点検は行わなかったのか。
5. 今回の原因を特定できた具体的日時はいつか。
6. 川内原発について、過去に今回と類似する問題は発生していなかつたか。
7. 原発の運転に際しては、いかなる些細な問題であっても、即座に運転を止めて総点検し、一刻も早い原因究明と問題への対処が重要と考えるが、貴職の考えは如何か。

<要 請>

今回の問題を教訓に、今後発生する様々な問題に対しては、即座に運転を止めて総点検し、一刻も早く必要な対処を行うことを強く要請する。

以 上